

歯科用ユニット イムシア UP, スピリット V, セプタス シリーズ

取扱説明書補足

残留水排出<フラッシング>について

当社製歯科用ユニットの取扱説明書に記載の「残留水排出の手順」を抜粋しています。
取扱説明書と合わせてご覧のうえ、正しく残留水排出を励行してください。

⚠ 注意

毎日の診療前に、ハンドピースを含む全ての歯科用治療器具から残留水を排出してください。(フラッシングの実施)
なお、休診日の翌日は特に入念に残留水の排出を行ってください。

- 本体のウォーマータンクやチューブ内には一定量の給水が残留しており、長時間内部で放置されることにより水質が低下するため、使用前に排出しておく必要があります。
1日の診療の中でも使用していない時間が長くなる場合には、使用前に残留水の排出を行ってください。

残留水の排出<フラッシング>

毎日の診療前に、各給水管路から本体内部の残留水を排出します。

※ 詳細の手順は、ご利用の機種取扱説明書を参照してください。
チェアの電源を ON にし、以下の項目に従ってください。

手動による残留水排出の場合

各給水管路の排出所要時間(目安)	
給水管路	時間
(1) コップ給水	各 1 分
(2) スリーウェイシリンジ	
(3) エアータービン	
(4) トルックス	各 2 分
(5) 超音波スケーラー	3 分

取扱注意

- 作業は、必ず以下の(1)から順に行ってください。
順に従わないと、排出効率が低下します。

※ 各給水管路の排出所要時間(左表参照)は、チェア本体内の分量を前提としています。
チェア本体以外の配管部分に滞留している分量なども考慮し、規定時間以上に排出していただくことを推奨します。

(1) コップ給水の残留水排出



- ① コップをコップ台に置いて給水します。
- ② 給水が完了したらコップ内の水を捨て、再度給水します。
8回以上繰返してください。

(2) スリーウェイシリンジ回路の残留水排出



- ① スリーウェイシリンジを引出します。
- ② シリンジ先端をベースンに向け、Wレバーを押して水を1分間以上、排出します。
- ③ 術者側、アシスタント側を各々に行います。
- ④ 完了したら、スリーウェイシリンジをインストルメントハンガー(シリンジホルダー)に格納します。

(3) エアータービン回路の残留水排出



- ① エアータービンハンドピースを引出して、HP WATER スイッチを ON にします。
- ② ハンドピースをメインチューブから取外します。
- ③ メインチューブ先端をベースンに向け、フットコントローラーを操作して水を1分間以上排出します。
- ④ 完了したら、ハンドピースを元どおりに取付けて、インストルメントハンガー(シリンジホルダー)に格納します。
2回路目がある場合は、続けて同じ手順を行ってください。

(4) トルックス回路の残留水排出



- ① トルックスを引出して、HP WATER スイッチを ON にします。
- ② トルックスからストレートハンドピース・コントラアングルを取外します。
- ③ トルックス先端の注水口をベースンに向け、フットコントローラーを操作して水を2分間以上排出します。
- ④ 完了したら、アタッチメントを元どおりに取付けて、インストルメントハンガー(シリンジホルダー)に格納します。
2回路目(オプション)がある場合は、続けて同じ手順を行ってください。

取扱注意

- トルックス先端の注水口は、接続筒の付近にあります。位置を確認の上、排出を開始してください。

(5) 超音波スケーラー回路の残留水排出(オプション)



- ① スケーラーハンドピースを引出して、HP WATER スイッチを ON にします。
- ② スケーラーハンドピース先端(チップ)をベースンに向け、フットコントローラーを操作して発振させ、水を3分間以上排出します。
- ③ 完了したら、スケーラーハンドピースをインストルメントハンガーに格納します。

取扱注意

- 超音波スケーラーを発振させる時は、必ずハンドピース及びチップをチューブに取付けた状態で行ってください。ハンドピース及びチップをつけない状態及びチップの締付けが不十分な状態で発振を行うと、基板などの機器に負担がかかり、故障や他の機器の誤作動の原因となります。

残留水排出装置・給水管路クリーンシステムによる残留水自動排出の場合

フラッシング装置(残留水排出装置)を搭載している場合は、各給水回路から残留水の自動排出ができます。

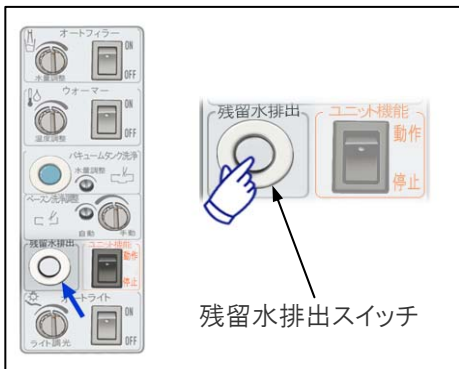
※ 詳細の手順は、ご利用の機種 of 取扱説明書を参照してください。



上図はイムシア UP

- (1) メインスイッチを OFF にします。
フラッシング装置をベースンのコップ給水口にあわせて取付け、各メインチューブをフラッシング装置に接続します。

残留水排出装置の場合



上図はイムシア UP

- (2) -1 メインスイッチを ON にします。
準備完了後、残留水排出給水スイッチを押して、チェア本体内の残留水を排出します。

給水管路クリーンシステムの場合



上図はイムシア UP

- (2) -2 メインスイッチを ON にします。
 1. ボトル液スイッチがOFFになっていることを確認し、
 2. ボトルの水用チューブ(青)を外し、操作パネルの『水道水』接手に差込みます。
 3. 水バルブを『開』にします。
 4. 洗浄液排出スイッチを押して、チェア本体内の残留水を排出します。